

立春の頃

1月があっという間に過ぎていきました。昔CMで「時間は過ぎない、時間は積み重なる」という言葉がありましたが、まさにその通り。そして4月からの園生活の集大成ともいいくべき3学期は、本園の教育目標にもある「主体的な子どもの姿」が至る所に見られるようになりました。特に縦割りグループで遊ぶ「なかよし遊び」の時間は、年長さんが企画したグループだけの遊びが発達し、次の学年へのステップともなり、「時間の積み重ね」を感じられます。

先日の研修部主催の教育講演会では、15年前の東日本大震災、2年前の能登半島地震など当時の映像も見ながら「大切な人のために災害から生き抜く」ことを講師の板井先生からお話いただき、会場にいる全ての人が肝に銘じたところでした。防災の観点からも「朝ご飯を食べること（昼ごはん前に災害が起これば次はいつ食べられるかわからない）」「寝る前の翌日の服などの準備（冬なら羽織るもの）」「靴を揃えること（ばらばらになった靴を履くのとは数秒違います）」の昔からよく言われていることの大切さを再確認しましたが、「命を守る3つの約束」として、ぜひご家庭でも実践してほしいと思います。

2日にはボランティアの方にたくさん参加いただき、園中に広がる落ち葉を集めました。ゴミ袋180袋分になりました、大変園中がきれいになりました。

様々なことにご理解ご協力をいただきお陰様で子どもたちが健やかに成長しています。本年度、最後まで、どうぞよろしくお願ひいたします。

大
幼



大分大学教育学部附属幼稚園

令和7年度
園長だより
No14
R8年2月3日



DANパティスリー公演 みんなおおはしゃぎ



年長さん、1年生との交流

iPadに夢中でした



保育参加 お面を作りました



退治したい鬼の退治をしました。これはゲームばっかり鬼の退治中です。